



信玄公役を務める山下泰裕氏(左)と応援にかけつけたK-1ファイター武蔵氏(右)

## 信玄公役にロサンゼルス五輪・柔道金メダリスト山下泰裕氏を抜擢!

第39回信玄公祭りは、4月10日から12日まで「信玄公を想う3日間」のスローガンのもと甲府市を中心に開催されます。今年の信玄公役には、ロサンゼルス五輪・柔道金メダリスト山下泰裕氏が抜擢され、東京都内で記者発表会が行われました。第40回開催に向けて大きく変わる信玄公祭りの前段となる今年は、プロの演出家による迫力と動きのある信玄公本陣やさまざまな新企画を導入し、参加者や観客の皆さまに感動を与える祭りとして開催します。



横内知事にやまなしブランドPR方法を提案するプロジェクトチーム

## 山梨の魅力为全国に情報発信していきます!

県では、ワインなど県の特産品をPRするため、雁屋哲氏原作の人気漫画「美味しんぼ」の一場面などを4月から職員の名刺裏に印刷することを決めました。また、電子メールの署名欄に観光資源などの情報を掲載、インターネットショッピングモール楽天市場の「まち楽山梨」に知事と職員のブログを開設するなど、山梨の魅力为全国に情報発信し、やまなしブランドのイメージアップ、販路拡大を図っていきます。これらは、県庁内の若手職員で構成された「やまなしブランド広報推進プロジェクトチーム」が企画提案したもので、今後、全庁あげて取り組んでいきます。



山梨大学附属病院の南側を走る新山梨環状道路

## 新山梨環状道路・南部区間 3月14日から供用開始

新山梨環状道路は、甲府市街地とその近郊の交通渋滞を緩和すること、周辺地域の交通の利便性を高めることなどを目的とした全長43kmの環状道路です。この道路は、平成16年に中部横断自動車道としてすでに開通している西部区間、3月14日から供用開始となった南部区間(中部横断自動車道 南アルプスIC～甲府市西下条)、整備を計画している東部区間、北部区間で構成されています。今回の供用開始により、産業・観光支援、医療支援などの効果も期待できます。



1月5日に行われた「ミレー館」オープニング式典

## 県立美術館に「ミレー館」がオープン!

昨年11月に開館30周年を迎えた県立美術館では、常設展示室を改修し、1月6日に装いも新たに「ミレー館」としてリニューアルオープンしました。2室で構成された「ミレー館」は、壁紙を自然色で彩り、最新の照明器具が取り入れられています。第1室には、30周年記念購入作品「眠れるお針子」をはじめ、「種をまく人」「落ち穂拾い、夏」など油彩画全10点と版画・素描などを展示しています。第2室は、ルソーやドービニーといったバルビゾン派の作品に加え、新たに購入したジュール・ブルトンの「朝」など油彩画・版画・水彩画などを展示しています。また、入り口には、点字などを用いた「手で見えるミレー」を常設展示し、解説ボランティアのスタッフが視覚障害者の方々の鑑賞のお手伝いを行います。オープン前日には、白石館長をはじめ、美術関係者約220人が出席し、式典を行いました。今後、ミレー館では、年に4回の展示替えを行い、版画作品など一部の作品を入れ替えながら、県立美術館のコレクションを紹介していきます。



30周年記念購入作品「眠れるお針子」に見入る来館者



横内知事と意見交換を行う臨床研修医たち

## 医師確保のために「研修医と語る会」を開催

1月24日、県内に勤務する臨床研修医25名や臨床研修病院の指導医などが出席し「研修医と語る会」を開催しました。この会は、研修医の本県への定着・確保を図るため、医師会と県が協力し昨年度から開催しています。当日は、県内の医療機関で働く先輩達が「医療人としてのやりがい」と題して講演しました。また、知事からは、研修修了後も引き続き山梨県に残り、地域の医療を支えてほしいとのメッセージも込めて、本県のさまざまな魅力が語られました。研修医からは、山梨に勤務することを選択したきっかけや今後の進路等についての発表もありました。

ここから下の段は広告です。広告の内容について詳しくは、広告主にお問い合わせください。



ここから下の段は広告です。広告の内容について詳しくは、広告主にお問い合わせください。

